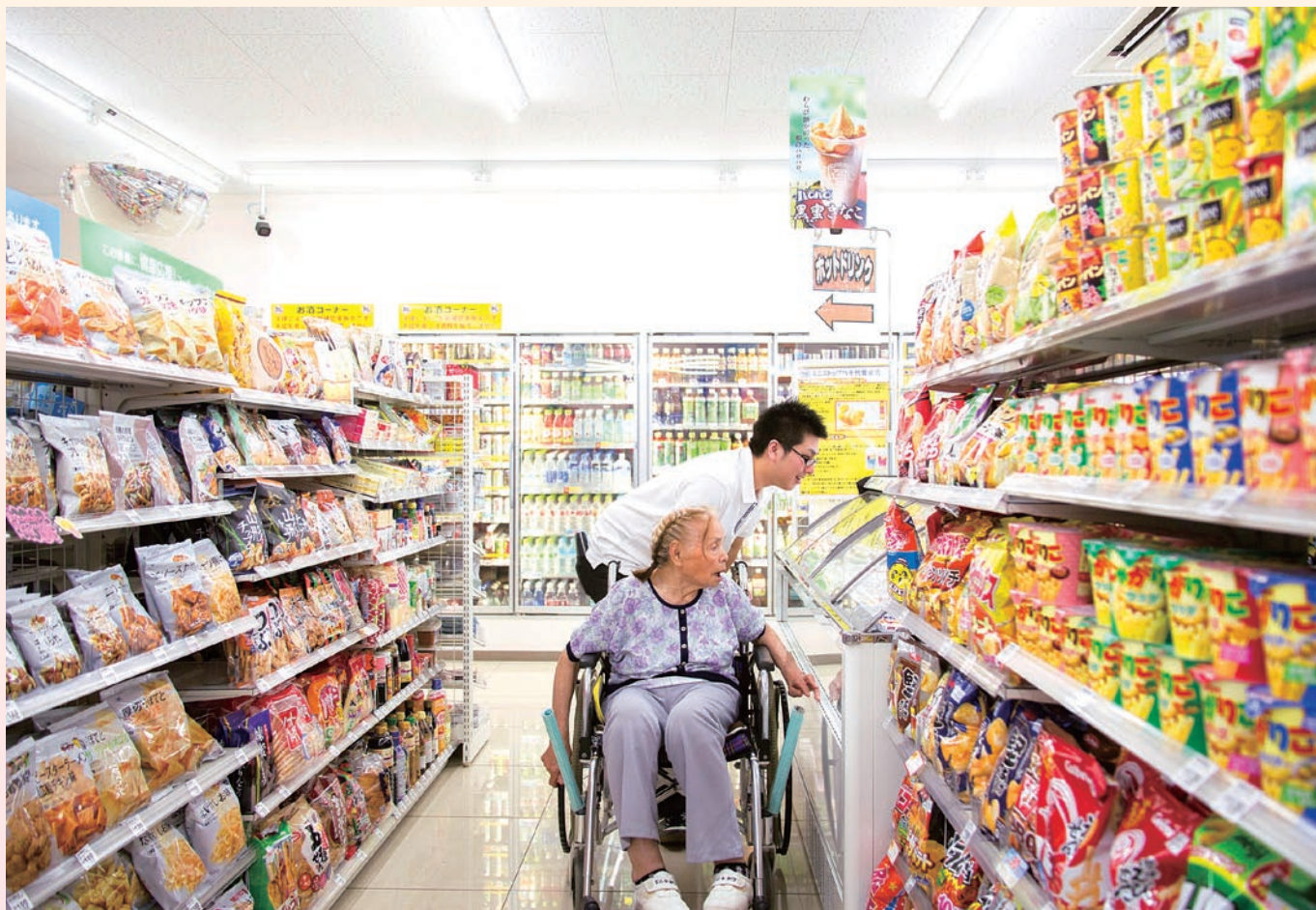


2017
No. 304
1

『だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現』をめざして

いばらきの 社会福祉

Social Welfare of Ibaraki



介護男子スタディーズ（介護男子スタディーズプロジェクト）より

Contents

- 2 ～ 3 ・ 新年のご挨拶
・ 茨城県社会福祉大会開催 ほか
- 4 ～ 5 ・ 全国健康福祉際ながさき大会
・ 人材確保の取り組み ほか
- 6 ～ 7 研修・就職情報
・ 介護支援専門員実務研修
受講試験結果発表 ほか
- 8 ～ 9 地域福祉活動レポート
サロン・ド・テ・宝（常総市）
- 10 市町村社協職員リレートーク

介護男子スタディーズプロジェクトとは—

全国の20の社会福祉法人が介護の仕事の理解を促すため共同で実施しているものです。茨城県では社会福祉法人袖会（八千代町）が参画しており写真は同法人職員の中野拓未さん。

<http://www.kaigodanshi.jp/>

- 11 information
- 12 わかち合おう小さな善意

はんどちゃんを紹介

はんどちゃんは、「福祉コミュニティづくり県民運動」のキャラクターとして茨城県社会福祉協議会、茨城県内の市町村社会福祉協議会を中心に活躍しています。

みんなの手で地域をつくらう



はんどちゃん



新年のご挨拶

社会福祉法人茨城県社会福祉協議会
会長 関 正 夫



新年明けましておめでとうございます。

日頃から、茨城県社会福祉協議会の活動に深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

我が国では、急速な少子高齢化の進行等による人口減少や社会保障経費の増大に対応し、持続可能な社会保障制度の確立するため、社会保障制度改革が進められております。

また、その推進にあたっては、「ニッポン一億総活躍プラン」において、子ども・高齢者・障害者など全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことの出来る「地域共生社会」の実現をめざした、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合い、助け合いながら暮らすことの出来る仕組みを構築していくこととされております。

一方、地域においては、核家族化の進展等によるつながりの希薄化に加え、経済情勢や雇用環境などの厳しさも相まって、社会での孤立や生活困窮等の貧困問題など、日々の生活課題や福祉課題が複雑化、深刻化してきております。

こうした中、私ども茨城県社会福祉協議会は、依然として厳しい福祉・介護人材の確保に取り組んでまいりながら、「茨城県地域包括ケアシステム」構築のための人材の育成、高齢者の健康・生きがいづくり等に努め、福祉に関わる関係機関・団体の皆様と連携を図りながら、社会福祉法の基本理念である「誰もが人として尊厳を持って その人らしく安心して暮らせる福祉社会の実現」を目指して、一層精進してまいります。

どうぞ、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

本年も皆様にとりまして、明るい笑顔の多い年となりますように、ご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

第66回茨城県社会福祉大会を開催しました

10月28日、茨城県・茨城県社会福祉協議会・茨城県共同募金会の主催により、茨城県立県民文化センターにおいて「第66回茨城県社会福祉大会」を開催しました。

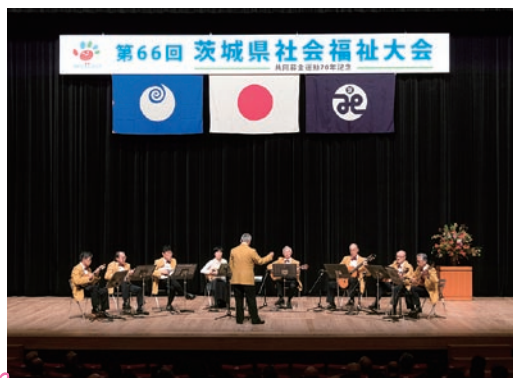
当日は、オープニング・アトラクションとして、水戸ジュピターマンドリンクラブの皆様の演奏による幕開け。

記念講演では、エッセイスト、またコメンテーターとして活躍されている安藤和津さんによる「快適で幸せな暮らしのために」と題して、ご自身の介護体験などを踏まえ御講演いただきました。

式典では1,258個人・団体の皆様が、県知事表彰、共同募金運動70年記念県知事特別感謝、県社会福祉協議会会長表彰・感謝、県共同募金会会長表彰、共同募金運動70年記念県共同募金会会長感謝を受賞されました。



式典で挨拶する関会長



マンドリンの美しい音色が会場にひろがりました

また、昨年発生した「関東・東北豪雨災害」の発生から1年が過ぎたことから、甚大な被害が発生した常総市の復興の一助となるよう、会場中庭において、常総市内の商店・社会福祉施設による物品販売を行いました。

今年度も、より社会福祉を理解する雰囲気や絆の大切さを醸し出せることのできる大会となるように心がけて開催いたしました。

受賞者の皆様の御功績と御苦勞をたたえますとともに、今後ますますの御発展をお祈りいたします。



自らの介護体験を踏まえ講演された安藤和津さん

ボランティア・市民活動フェスティバル2016

を開催しました



参加者をお出迎え！
(左から)はんどちゃん、とき
わんこ、いばラッキー



関東・東北豪雨災害後の復興
支援活動について、振り返り
トークが行われました。

第3回ボランティア・市民活動フェスティバル2016を、包括連携協定を結んでいる常磐大学にて、『安心した地域生活を送るために“ワタシ”ができること』～災害時に機能する、日常のつながりづくり～をテーマに、9月16日（金）に開催しました。平日ではありましたが、約100名の方が参加されました。

近年の地球規模での温暖化や地震の頻発に伴う、相次ぐ災害に備えるためには、平時から地域におけるつながりづ

くりを進めておくことが大切です。そのためには、まず、一人で始められることをそれぞれ実施し、いざというときにも役立つ関係を築くことが必要であると考え、今回のテーマを設定しました。

フェスティバルは、「一般社団法人クオリティ・オブ・ライフ」の児童・生徒・先生の皆さんによる元気なダンスパフォーマンスにて幕を開け、弾けるような児童の演技と笑顔で会場を魅了しました。

基調講演では、災害時に活動するNPO団体やボランティア団体と行政等をつなぐ役割を担う、「全国災害ボランティア支援団体ネットワーク」の事務局長である明城徹也さんが、「災害支援活動から見た日常生活から進める“備え”」と題した講演を行い、普段知ることのできない震災や水害時の貴重なお話を聞くことができ、参加者の関心を惹きつけました。

午後は5つの分科会に分かれ、平成27年9月に起こった「関東・東北豪雨災害」後の復興支援活動に関する議論と振り返り、地域の助け合い活動、国際支援活動、体験実践型ボランティア体験プログラム、障害疑似体験ワークショッププログラムを実施しました。茨城県内を中心に多様な活動をされている方々が参加者を引き込み、新たな気づき、共感、行動する勇気を得た参加者の皆さんは、今日からできるつながりづくりの実践を意識したようでした。

また、県内3つの社会福祉法人施設がこの日のために工夫をこらし、「お月見」をテーマに製作したお菓子を販売し、売り切れ続出の大好評でした。

このフェスティバルが、参加者にとっての気づきの場となり、地域の助け合い活動を促進するきっかけとなるよう、来年度以降も開催していきたいと考えています。



出演者、参加者が国境を越えて一つの輪に！
同じ想いを持つ人たちによる意見交換が行
われました。

茨城県知事へ社会福祉に関する要望書を提出しました

県社協を含む県内の福祉団体で構成される茨城県社会福祉予算対策委員会は、10月6日、県庁にて「平成29年度県社会福祉に関する要望書提出式」を行いました。

今回の要望では、「福祉・介護人材確保等の推進」、「全国障害者スポーツ大会の受け入れ体制整備について」の2点を重点要望に掲げています。

県社協としては、福祉・介護人材の育成や安定的な確保を目的とした協議体の設置やイメージアップ活動の展開などを柱とする福祉・介護人材確保に向けた総合的な対策の推進を含む4項目について要望しました。

また、橋本知事からは、「なんとか力を入れていきたい課題であり、福祉のことを良くわかっている皆様より現状を教えてください。」との言葉があり、知事と委員で活発な意見交換が行われました。



各福祉団体の代表者の方々から橋本知事に要望書をお渡ししました。

県社協
要望
事項

【政策要望】

- (1) 福祉・介護人材確保に向けた総合的な対策の推進について
- (2) 全国障害者スポーツ大会の受け入れ体制整備

【予算要望】

- (3) 日常生活自立支援事業の補助金増額について
- (4) 生活困窮者自立相談支援事業等の社会福祉協議会への委託推進について

第29回全国健康福祉祭ながさき大会

結果報告

高齢者を中心とする、スポーツ・文化・健康と福祉の総合的な祭典である、全国健康福祉祭ながさき大会が、平成28年10月15日（土）から18日（火）の期間、長崎県内各地で開催されました。

本県からは、19の競技種目に145名の選手が参加し、3競技5名の方が金メダルを獲得しました。おめでとうございます。



マラソン（70歳以上 3km）

菅谷 隆 選手



水泳（バタフライ 70～74歳 25m、50m 2部門優勝）

小池 康隆 選手



水泳（背泳ぎ 80歳以上 25m、50m 2部門優勝）

大貫 三知雄 選手



ダンススポーツ

（ラテンの部 チャチャチャ、ルンバ 2部門優勝）

平沢ペア＜平沢 一夫 選手・平沢 恵子 選手＞



茨城県勢も堂々と行進しました



ダンススポーツ出場者のみなさん
(左から3番目が金メダル獲得の平沢ペア)

リレーマラソン 第25回国営ひたち海浜公園 大会に出場

昨今、働く人の心身の健康は、大きな関心事となっています。県社協においては、職員の心身の健康維持に寄与するため、

さまざまな取り組みがはじまっています。今年から義務化されたメンタルヘルスチェックをはじめ、始業・終業前に体操を取り入れる試みなども行ってまいりました。

今回、県社協職員の有志が健康づくりの一環として、ひたち海浜



スタートを待つ県社協チーム
(中央の2人)

公園で開催された「リレーマラソン」に出場しました。

当日は曇り空の寒い日となりましたが、出場した18名が一丸となって42.195kmを走り切りました。

結果

茨城県社協A 3時間43分27秒

茨城県社協B 3時間34分28秒



総勢18名の県社協 チームAとチームB

県社協の
ひとこま

広げよう ふだんの ぐらしの しあわせ をささえる仕事

～福祉人材の確保と定着に向けた茨城県福祉人材センターの取り組み～

少子高齢化が進む中で、介護をはじめとする福祉サービスに対する需要が年々高まりをみせている一方、社会福祉施設や事業所においては、慢性的な人材不足に悩む状況となっています。

茨城県社会福祉協議会では、「だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」を理念に、福祉サービスを必要とする人が、いつでも安定した、質の高いサービスを受けることができるよう様々な事業を行っています。今回は、茨城県福祉人材センターの福祉人材確保に向けた取り組みをご紹介します。

福祉の未来を担う子ども達に福祉の仕事の魅力を知ってもらいたい！



福祉キャラバン隊

小・中・高校生向けに、福祉の仕事の魅力を伝える授業を実施。



経験はないけれど、福祉の仕事に興味がある人を応援したい！



初任者研修支援事業

無資格者で福祉の仕事に就く方向けに、「介護職員初任者研修」の受講費用の一部助成を実施。

福祉の魅力発見ツアー

夏休み期間中に、小中学生を対象に福祉施設見学や、福祉に関わる体験を行うツアーを開催。



職場体験

中学生以上を対象に、県内福祉施設で1日から10日間の職場体験を実施。

ふくし職働

初心者向けの介護入門や、福祉職場で使えるレクリエーション講座等を実施。



想像するより体験。



福祉のお仕事 就職総合フェア ／就職相談会

福祉の職場への就職希望者が福祉施設・事業所と面談する場として開催。



介護福祉士国家試験受験対策講座

介護福祉士国家試験取得を目指す福祉職従事者向けに、受験対策講座を実施。

キャリアパス導入セミナー

福祉施設・事業所向けに、キャリアパス導入促進のためのセミナーを開催。



潜在的有資格者再就職支援事業

資格を持ちながら、福祉の仕事に就いていない方に再就職に関する情報提供を行う。

**福祉の仕事を頑張る人の
キャリアアップを支援したい！**



**福祉の仕事を辞めてしまったけれど、もう1度トライする人の
背中を押したい！**



平成28年度茨城県介護支援専門員実務研修受講試験の結果【10月2日(日)実施】

今年度の受験者は2,441名、そのうち合格者は280名、合格率は11.5%という結果になりました。

＜職種別合格者数構成比率＞

職 種	介護福祉士	看護師	社会福祉士	保健師	理学療法士	精神保健福祉士
合格者数	184人	28人	28人	13人	11人	9人
構成比率	58.9%	8.9%	8.9%	4.1%	3.5%	2.8%

県社協では、合格者を対象に「介護支援専門員実務研修」（13日間・87時間）を平成29年1月～4月にかけて実施します。実務研修の全課程を修了することにより介護支援専門員として登録ができ、介護支援専門員証が交付されることにより実際に実務に従事することができます。

茨城県はんどちゃん人づくり研修等事業

「福祉施設職員等研修ガイド」（平成29年1月～3月開催予定分）

1月	25、26日	業務改善手法研修 ～これならわかる！リーダーのための業務改善4つの力～
	30日	発達障害セミナー ～子どもの行動には理由がある～
2月	1日・2日	ファシリテーション研修 ～ファシリテーションで響きあうチームを実現しよう！～
	8日	保育担当職員 ～魔法の手遊びから深めるコミュニケーション～
	23日	給食担当職員研修 ～食事アセスメントの方法と活用～
	24日	管理・代表者研修 ～組織のミッションを共有できていますか？～
3月	2日	看護職員研修 ～福祉施設のターミナルケアにおける看護師の役割～
	10日	公開セミナー【下記参照】



問 福祉人材・研修部 TEL：029-244-3755

茨城県はんどちゃん人づくり研修等事業 公開セミナー

今年のテーマは…「広報力」です！
「自分たちの活動を理解してもらうためには何が必要?!」
広報に関わることを分かりやすく学ぶことができます。

日 時：3月10日（金）10：00～16：00
場 所：茨城県保健衛生会館（水戸市緑町 3-5-35）4階大研修室
講 師：横森祐治氏（コミュニケーションデザイナー）

「社会の課題と企業の課題を一緒に解決するしくみを考える」がミッション。
赤い羽根共同募金のさまざまな事例にも関わる。
長井一浩氏（NPO法人 明日育 常務理事）
松阪市社会福祉協議会を退職後、NPO法人 明日育を設立。富山県黒部市を
活動拠点として、住民参加型のまちづくり推進やプラットフォームづくりを行う。

対 象 者：興味のある人は誰でも参加できます。

広報担当者、地域とかかわる仕事をしている方、自分たちの仕事をうまく進めていきたい人は必見です！

参 加 費：5,000円

募集人数：70名（先着順です。お早めに申し込みください。）



問 福祉人材・研修部 TEL：029-244-3755

福祉のお仕事就職相談会のお知らせ

福祉事業所との面談や福祉の仕事・資格等の情報提供を行います。

開催日	2月11日（土）13：00～15：00（受付開始12：30～）
会場	水戸駅ビルエクセル本館6階 エクセルホール 水戸市宮町1-1-1
参加対象	福祉・介護の職場に興味のある方、就職を希望する方
参加方法	事前申込は不要です。当日会場にて受付を行います。 ・参加費無料 ・入退場自由 ・履歴書不要
参加事業所	30事業所が参加予定です。 現在職員を募集している事業所や、新卒者（平成29年3月卒業見込者）の採用予定のある事業所などが参加します。
問合せ先	茨城県福祉人材センター TEL：029-244-4544

就職ガイダンスも同時開催！

就職相談会と同じ会場で、10：30～12：10の間、開催されます。福祉の仕事の魅力について、現場の声を聞くチャンスです！

茨城発 求職者支援強化事業

ふれあってくらしをささえる しあわせな 職業 どう？

「ふくし職働」のご案内

「ふくし職働」では、福祉の仕事希望の方や、福祉の仕事をしている方をお手伝いするために、各種講座や自由に話せる場（サロン）を行っています。

主な内容 （おしながき）	暮れ六つ講座（第2火曜日）、木になる講座（第4木曜日） おひさま講座（第3金曜日）、夕暮れしゃべり場・仕事とこころの相談（隔週水曜日）
参加対象	・福祉の職場に就職を希望する方 ・福祉の職場に関心のある高校生／専門学校生／短大生／大学生の方 ・福祉の仕事に関心のある方
参加費	無料
開催日程	茨城県社会福祉協議会ホームページ（ http://www.ibaraki-welfare.or.jp/ ）をご覧ください。
開催場所	茨城県総合福祉会館2階 茨城県福祉人材センター内「ふくし職働」ルーム
申込方法	受講申込書に必要事項を記入の上、郵送又はFAXにて各講座開催日の2日前までにお申し込みください。（電話申込可）
申込み・問合せ先	茨城県福祉人材センター TEL：029-244-4544

< 2月・3月開催の講座 >

リハビリ「いろは」	2月14日（火）18：00～20：00
あがらない面接対策 & 履歴書・職務経歴書攻略法	3月14日（火）18：00～20：00
福祉職場で活用できる折り紙講座	2月23日（木）14：00～16：00
福祉職場で活用できるマジック講座	3月23日（木）13：30～15：30
初心者のための介護入門（排泄介助）	2月17日（金）13：30～15：30
知っておきたいケアマネジャーの仕事	3月24日（金）13：30～15：30





『サロン・ド・テ・宝(たから)』

水害を機に、強固になった住民同士の絆

2015年9月10日、台風18号の影響により、常総市を流れる鬼怒川の堤防が決壊。市内の住宅が浸水し、甚大な被害をもたらしました。

今回、取材に伺った常総市水海道宝町で活動する『サロン・ド・テ・宝』のスタッフ、山口巳津子さんは当時を次のように振り返ります。

「私の自宅は、床上30cmほど浸水してしまいましたが、ほかの地域や住宅では被害がひどいところがたくさんありました。水害被害があつてから、10日後ほど経ったところでしょうか。『気持ちに沈んでしまっている町内の人々を元気づけたい』という同じ思いを持つ仲間を集めて、宝町の地域住民に食料を配布することにしたのです」

食料を受け取りに来た方々からは、「ちょうど食料が底をついてきたころだったから、本当に助かりました」という声が多かったそうです。

「ちょうどそのころ、社会福祉協議会の方から、『地域住民が集うサロンの活動を始めてみては?』というお話があり、地元の方々が集まり、情報交換などができるサロンを開催することとなったのです」(山口さん)

山口さんたちが食料を配布した場所こそ、現在、『サロン・ド・テ・宝』の集合場所となっている「宝町会館」です。この場所は、長らく住民たちのコミュニティスペースとして機能していた住民たちの憩いの場でした。

活動をスタートさせた『サロン・ド・テ・宝』

サロン活動は2016年2月4日にスタートしました。初回は、「お茶飲み会のお知らせ」として、地域の皆

様に告知したところ、当日は33人もの方々が集まってくれたといいます。

「初回のサロンは、災害から5カ月ほどたったころでしたから、久しぶりに顔を合わせた方と、それぞれの近況報告や世間話など、お話ししているうちに時間があっという間に過ぎてしまいましたね。それまで、なかなか地域の方々と一緒に集まってお話をする機会もありませんでしたので、いま思い返せばとても良いきっかけになったと思います」(山口さん)

その後、サロンの活動は2月から4月までは週に1回、5月から現在に至るまでは毎月第3木曜日に開催されています。

「6月からはサロン名を『サロン・ド・テ・宝』にしました。フランス語で『お茶を愉しむ宝町のサロン』といったところでしょうか」(山口さん)

災害時に役立つ情報共有の重要性

当初はお茶飲み会としてスタートした内容も

回数を重ねていくにつれて、充実したものとなっていきます。

「毎月さまざまなことを皆さんと一緒にやっていますね。アクリル毛糸タワシ作り、非常用持ち出し品の

確認、避難時の心構え、災害時に役立つ風呂敷リュックやホットタオルの作り方、オレオレ詐欺対策など、基本的には、山口さんのアイデアが形になるケース



手作りの「アクリル毛糸タワシ」
洗剤を多く使わなくても
汚れが落ちるそうです

がほとんどですが、みんなが有意義な情報を共有、実践するようにしています」と語るのは、『サロン・ド・テ・宝』のスタッフ・中山美代子さん。ご自身もシルバーリハビリ体操指導士としてメンバーに毎月体操を教えています。

「ときには、日本赤十字社や社会福祉協議会の講座に参加して、そこで聞いたお話や学習し



住民のみなさんの憩いの場「宝町会館」



『サロン・ド・テ・宝』のスタッフ、
山口巳津子さん(右)と中山美代子さん(左)



切り絵は手先の運動だけでなく
脳の活性化にもつながります



地域のみなさんとお話をしながら
切り絵を仕上げていきます



どの切り絵模様を作ろうか考えながら、
作業を進めていきます



完成した切り絵をお披露目
みなさん上手にできました！



短時間でいくつもの切り絵が完成しました♪

たことをサロンメンバーで共有するようにしています。災害時に役立つホットタオルの作り方や風呂敷リュックなどは、そこで学んだものですね」(山口さん)

参加メンバーの笑顔と交流の大切さ

取材当日は、20名ほどのメンバーが集まり、折り紙を使った切り絵と誤えん予防のための体操や発声練習などが行われました。

「こうやって普段なかなか顔を合わすことのない近所の方々とお茶を飲みながらお話ができるだけで私は幸いです」

「初めて切り絵をやりましたが、スムーズにできてよかったです。手先を動かすことは脳のトレーニングにもつながりますので、よい運動になりますね」

「誤えん予防のための体操は初めて知りました。中山さんは、シルバーリハビリ体操指導士の資格を持っているから安心できますね。運動もみんなで体を動かすと退屈しませんし、毎月この時間は楽しみです」

と当日参加したみなさんは月に一度の『サロン・ド・テ・宝』をととても楽しみにしていると笑顔で語ります。

今後の活動について山口さんは次のようにお話しします。

「なによりも現在の『サロン・ド・テ・宝』の活動を維持していくこと。そして、参加していただいている皆さんの要望や意見を取り入れながら、みんなで楽



切り絵が終わると、中山さんによる
シルバーリハビリ体操が始まります♪



ご嚥予防のための体操を指導する中山さん

しめるよりよいサロンにしていきたいですね」(山口さん)

未曾有の自然災害を機に、地域住民の交流とその交流拠点である会館利用が活性化され、以前にも増して絆が深まった宝町の方々。取材を通して感じたことは、地域住民同士の活発な情報交換と災害・防犯に対する意識の高さです。こうした日ごろからの横の繋がりや価値のある情報共有は、「安心して生活できる地域社会の実現」に直結しているのではないのでしょうか。

地域コミュニティが希薄になりつつあるいまだからこそ、こうした地域に根差したサロンの在り方が求められていると感じた一日でした。

宝町サロン

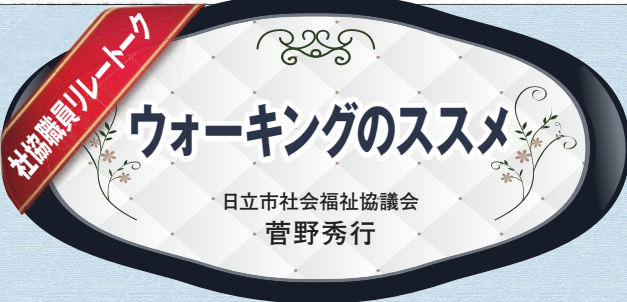
場 所：宝町会館

主催：サロン・ド・テ・宝

参加費：100円

協力：常総市社会福祉協議会

地域支えあいセンター



僕がウォーキングを始めたきっかけは8年前のダイエット。

肥満になり体調を崩したことから。そこで一念発起、「運動」と「食事制限」で解消しようと、普段の食事を減らし、とにかく歩くことにしました。食事はある程度コントロールできるにしても、運動を続けるには強い意志が必要。そこで意志の弱い僕は強制的に運動する環境をつくらうと「通勤届」を「徒歩」に変更しました。こうすれば否が応でも歩くしかありません。駅から職場まで片道2.3キロ。最初は肥満の身体を動かすだけでも大変で、ゆるい上り坂でも息が切れ、足が痛むので休憩しなければ歩けず、40分ちかくかけて歩かざるを得ない状況でした。今では20分程度で歩けますが、始めてから数か月は「痛勤」でした。また1

年間は勤務時の昼食をタッパー1個分のキャベツの千切りと、何もつけない食パン1枚でがまん。さらに継続すること半年。ドカ食いしてもリバウンドが無くなり、17キロのダイエットに成功しました!

年を増すごとに仕事の量も重要度も増し、ストレスを仕事や職場の人間関係で(おっと失言!)感じる日々が多くなりました。皆さんはいかがでしょう?

でも、帰り道をしっかり歩くことで勤務時間内にあった「モヤモヤ」や「イライラ」が汗とともに流れ落ち、心が軽やかになって家に着きます。今では僕の一番のストレス解消法です。朝の通勤時間帯は朝日を浴び、風を感じて体が覚醒するし、季節の移ろいを感じられます。また同じように歩いて通勤している美男美女...だけではありませんが、出会う楽しみがあります。3キロ30分以内ならぜひ通勤に、家に帰る前の職場周辺の散策にと、ウォーキングを取り入れてみませんか?

今回は「こだわりの男」、東海村社協の吉成さん、よろしくお願います。



平成28年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために!

プラン① 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

① 基本補償(賠償・見舞)

補償金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	死亡 10万円 後遺障害 0.3~10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (1事故で10万円限度)	死亡 10万円 後遺障害 0.3~10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (1事故で10万円限度)
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

年額保険料(掛金)		
定員		基本補償(A型)
補償基本(A型)	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	以降1名~10名増ごと	1,500円
付見舞費用(B型)	基本補償(A型) 保険料	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円

加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。



スケールメリットを活かした
充実した補償と
割安な保険料
です。

プラン② 施設利用者の補償

プラン③ 施設職員の補償

プラン④ 社会福祉法人役員の補償

◆ 28年度新設 使用者賠償責任補償(プラン3-①オプション)
社会福祉法人役員の賠償責任補償(プラン4)

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第三課
保険会社 TEL: 03(3593)6824
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

INFORMATION

募集 「高齢者はつつ百人委員会」委員を募集します

高齢者自らが地域の高齢者を対象に健康づくり、生きがいづくりに関する事業を、企画し実施する委員会です。ぜひご応募ください。

■応募資格

県内に住んでいる概ね60歳以上で、委員会の活動に出席できる方。
※委員として5期10年務めた方を除く。
※地方公共団体の長及び議員は除く。
※報酬・交通費はなし。

■任期

平成29年4月から平成31年3月末日

■応募方法

はがきに住所・氏名(フリガナ)・年齢・性別・電話番号を明記し、2月28日(火)まで(当日消印有効)に申し込んでください。
※応募多数の場合は、募集期限前に募集を締め切る場合があります。

■応募・問合せ先

〒310-8586
水戸市千波町1918
茨城県社会福祉協議会 茨城わくわくセンター
TEL: 029-243-8989
FAX: 029-244-4652

お知らせ サロンコンサートを一度、見に来ませんか

総合福祉会館1階県民サロンにおいて、「県民サロンコンサート」を毎月開催しています。懐かしい名曲やクラシックなどをお聴きいただけます。お昼のひとときを総合福祉会館でお過ごしになってはいかがでしょうか。

■開催日時・内容・出演

1月31日(火)
12:10~13:00
コーラス・アカペラ
出演: 河和田幼稚園アンサンブル愛

2月17日(金)
12:00~13:00
POPS・ハワイアン
出演: ワンマンバンドクライミーア

■会場

茨城県総合福祉会館
1階県民サロン
茨城県総合福祉会館
TEL: 029-244-4545



お知らせ 平成29年度 ボランティア保険が改定されます。

■ボランティア活動保険
保険金額および保険料ともに改定されます。

Aプラン	平成28年度	平成29年度
死亡保険金	1,200万円	1,320万円
後遺障害保険金	1,200万円	1,320万円
保険料(基本タイプ)	300円	350円
保険料(天災タイプ)	430円	500円

Bプラン	平成28年度	平成29年度
保険料(基本タイプ)	450円	510円
保険料(天災タイプ)	650円	710円

■ボランティア行事用保険

(1) 名簿の備付が不要の「Cプラン」を新設。

	Aプラン(一部改訂)	Cプラン(新設)
加入対象行事	日帰り行事 (A1 ~ A3)	日帰りの 「A1」のみ対象
保険料	1日1人(A1:28円 A2:126円 A3:248円)	1日1人28円
名簿の備付	必須	不要
往復途上の補償	あり	なし
最低加入人数	なし	なし
最低保険料	各区分とも20名分	560円(20名分)

(2) Aプランの最低加入人数(20名)の加入用件を廃止し、20名未満でも最低保険料をお支払いいただくことで加入できます。

■詳細については「ふくしの保険」のホームページ
<http://www.fukushihoken.co.jp/>でご確認いただくか最寄りの社会福祉協議会までお問い合わせください。

平成28年度 福祉サービス苦情解決研修会開催のお知らせ

茨城県運営適正化委員会では、福祉サービスの利用者等からの苦情に適切に対応するため、事業所の福祉サービス苦情解決責任者等を対象とした、苦情の現状や解決方法についての研修会を開催しています。

今年度は、平成29年3月3日(金)、ひたちなか市文化会館大ホールで行う予定です。

研修内容や参加申し込み方法につきましては、2月上旬に茨城県社会福祉協議会のホームページ(<http://www.ibaraki-welfare.or.jp/>)において詳細を掲載いたしますのでご確認ください。

茨城県総合福祉会館 利用の案内

茨城県総合福祉会館では、広く県民の皆様に気軽にご利用いただけるよう、県民サロンを利用したサロンコンサートの開催や、ギャラリーでの展示会をはじめ、コミュニティホール(定員296名)・多目的ホール・研修室の貸出しを行っています。各種講習会や研修・会議等にご利用ください。



〒310-0851 水戸市千波町1918 TEL 029-244-4545 FAX 029-244-4548



わかち合おう小さな善意 ～みなさまからのあたたかいご支援を紹介します～

平成28年8月～平成28年10月 善意金等の預託と払い出し状況（敬称略）

善意金

預託者名	金額（円）
丸大食品(株)	8,401
合 計	8,401

交通遺児福祉基金

預託者名	金額（円）
茨城県自動車整備業界親睦ゴルフ大会	103,000
学校法人 つくば自動車整備専門学校	137,360
合 計	240,360



善意品

預託者名	善意品	払出先名
常備労組 水戸支部	固形石鹼 72 個、タオル 77 枚、漂白剤 1 本、食器用洗剤 1 本、粉洗剤（小箱 14 箱、大箱 7 箱）、液体洗剤 2 本	県内社会福祉施設
早川ぶどう園	ぶどう狩り招待 44 名	県内社会福祉施設
リスカ(株)	うまい星チキンカレー味 12 袋入り×2 箱、コーンポタージュ 30 袋入り×1 箱、シュガーラスク 30 袋入り×1 箱、うまいしっとりいちご 30 袋入り×2 箱	県内社会福祉施設



茨城県自動車整備業界親睦ゴルフ大会



学校法人 つくば自動車整備専門学校



常備労組 水戸支部

使用済み切手・使用済みテレホンカード等

預託者名
高柳美智子／ケアハウスみどりおか／斎藤絢美／(株)三共建設／関彰商事(株)ビジネスソリューション部水戸支部／河内町商工会／新井清／藤井由紀子／土浦下高津郵便局／NPO 法人 茨城県ケアマネジャー協会／(一社)茨城県自動車整備振興会／(株)常南部品商会／常陽ボランティア倶楽部／水戸緑岡郵便局／(株)旭物産／茨城県企業局 水質管理センター／茨城県保健福祉部 長寿福祉課、福祉指導課／社会福祉協議会（桜川市、城里町、日立市、稲敷市、水戸市、茨城町、行方市、つくばみらい市、つくば市、古河市、取手市、龍ヶ崎市、ひたちなか市、土浦市）

いばらきの社会福祉
Social Welfare of Ibaraki

発行者／

社会福祉法人

茨城県社会福祉協議会

〒310-8586 水戸市千波町1918

TEL.029(241)1133(代) FAX.029(241)1434

HP <http://www.ibaraki-welfare.or.jp/>Facebook <https://www.facebook.com/ibarakikenshakyo>E-mail ibashakyo@ibaraki-welfare.or.jp

携帯電話で読み取るだけで簡単に「茨城県社協HP」にアクセスできます